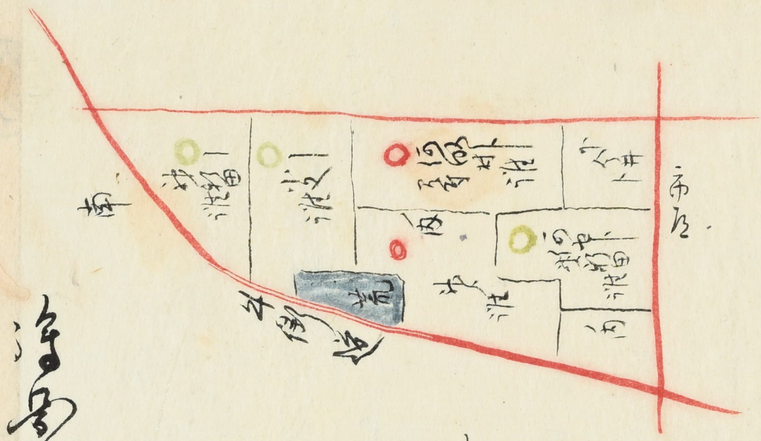
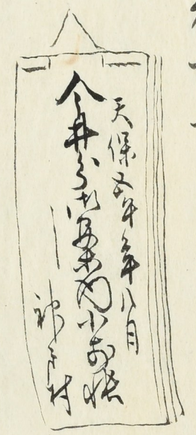
檢地仕法

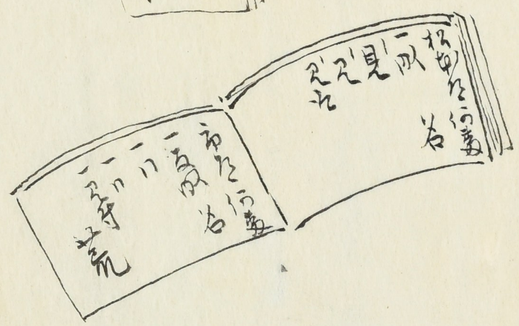
御検地之御事

曜始著述







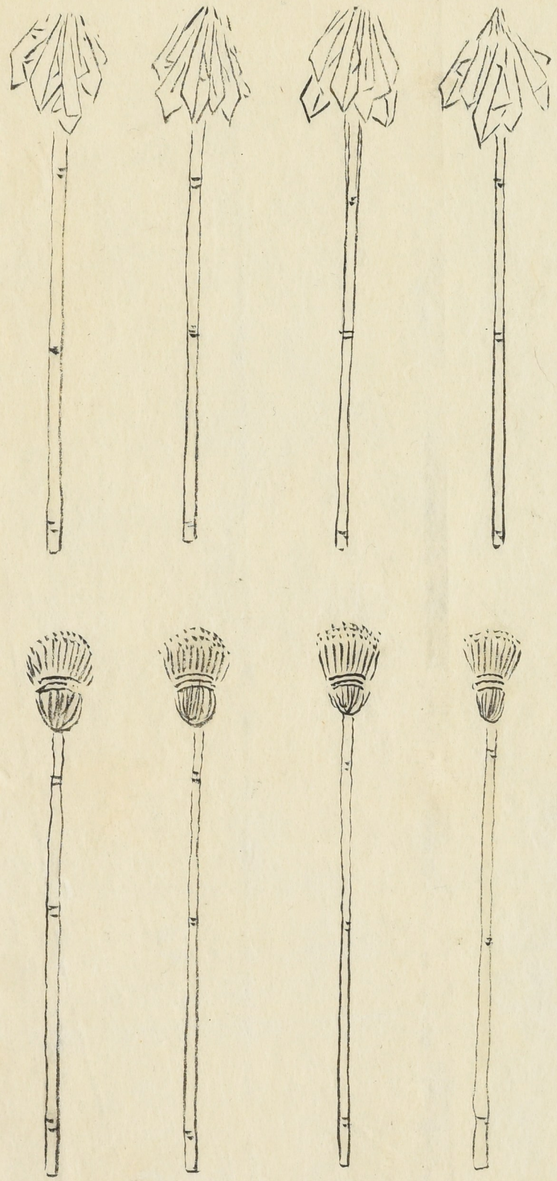


字数
一反四
一ノ
上ノ井ト
誰

右高〇あく当村
〇〇〇〇サイミトヽ七
を結ひ畑の〇〇〇
〇〇建〇〇〇〇
たゞ細〇〇〇〇
文〇〇〇〇〇
廿十〇〇 〇〇文
文〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇
〇〇〇〇〇〇

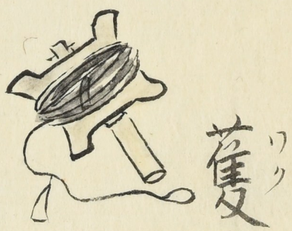


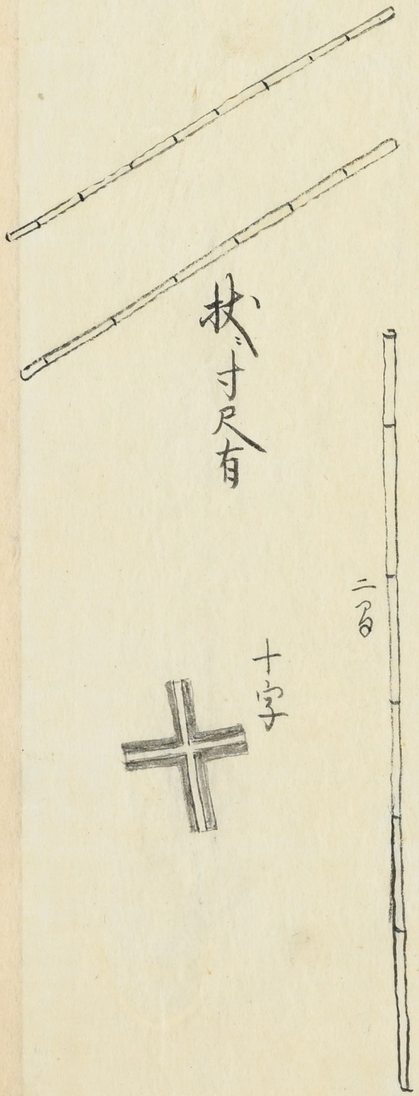
検地道具育増



梵天（ホンデン） 四本

細見（サイミ） 四本





御検地御沙汰
御勘定ニ奉行
豊田義
御用人
一通
一同
一高柳小三郎
御用人
奉行

人ノ母対応有
御奉行
御ニ方　法輪寺

永井主殿頭
性対面申聞
仙波常重
川原宇兵衛
今井清三郎
人数弐人
右之通
白洲溜

松平肥後守
御奉行
御名代
西尾伊予守方

一　御手前之御領分ニ被遊候
右林木境ニ而ちいさく切用
一枚御座候ハヽつぐべく

右去日之御業尚又夜間之書誌

天保五午年八月　九山菊之丞

暉始



御奉行
豊前守殿
高柳小三郎
田中新兵衛

御留守居役
永井雲平殿
御持筒同心
野村宗蔵
川添平助
今井権助

御留守居役
河合弥八郎
同心
小栗仁助
今井清助



御検地之次第